

電波掛時計

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください
ますようお願い申し上げます。なお、本取扱説明書/保証書はお手元に保管し、
必要に応じてご覧ください。

取扱説明書

製品仕様

- 時間精度：平均月差 ±30 秒以内（常温で使用時）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）
- ※指針（針の表示）誤差
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
秒針：±1 秒以内、時・分針：±3 度以内
- 使用温度範囲：0℃～+40℃
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池（LR6 1.5V）1個
※充電式電池・オキシライド乾電池・リチウム乾電池には対応していません。
機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。
- ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池は、併用して使用しないでください。
- 電池寿命：約12か月（単3形アルカリ乾電池1個使用の場合）
※モニター用電池が付属している場合
付属の電池は、工場出荷時につけられたモニター用電池ですので製品仕様の
表示より寿命が短い場合があります。（モニター用電池とは、時計の機能や
性能をチェックするための電池のことです。）
※買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推
奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。
- 電波受信/時刻合わせ機能：
40kHz/60kHzのどちらかを受信しやすい電波を自動受信し、現在時刻に合わせます。
- 自動受信（最多8回/1日）
- 手動受信
- 夜間秒針停止機能：午後10時00分～午前6時00分の間は、秒針が12時の位
置で停止します。

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷
による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合がございます。
●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対してなんら責任
を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じま
す。

保証・アフターサービスについて

- モニター用電池が付属している場合、電池は保証対象外です。
- 保証の内容については下記保証書をご覧ください。
- 尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
- ◆本保証書の提示がない場合
- ◆本保証書に販売店およびお買い上げ日の記載がない場合
- ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
- ◆改造または分解により生じた故障・損傷
- ◆火災や天災地変による故障・損傷
- ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
- ◆保証期間中・期間経過後とも、修理品はおお客様がお買い上げ店にお持込みいた
だきます。修理を依頼される場合はお買い上げ店にご持参下さい。
- 修理品をお持込み・ご送付される場合の運賃・諸掛り費用は、お客様にてご負
担願います。
- 修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品をご使用
させていただくことがあります。

保証書 GUARANTEE

お買い上げ後1年間の保証期間内に取扱い説明書にそった正常な使用状態で万一故障
した場合には、無料で修理・交換いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の
上、お買い上げ店にご依頼ください。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権
利を制限するものではありません。

商品名	※個装箱に表記されている [商品名] を記入してください。		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日			
お客様	ご氏名		
	ご住所		
	TEL		
販売店			

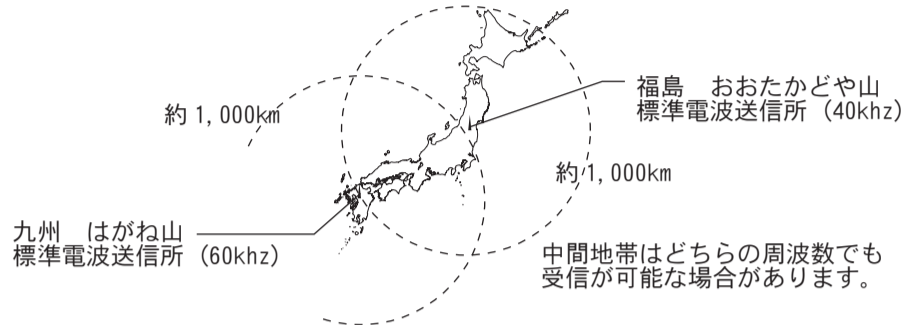
販売店名、同印、お買い上げ日の記入の無いものは無効です。
本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
本保証書は日本国内でのみ有効です。
(This guarantee is valid only in Japan.)

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、2015年4月現在、情報通信研究機構に
よって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ
10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の
2か所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信して
います。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため
に一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響に
よって停波（送信停止）する場合があります。停波に関する情報や、標準電波につ
いての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グル
ープ」を参照してください。
情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jijy.nict.go.jp>

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用
になる場所の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った
時刻を表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。下記のような条件では
電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用してください。

- ◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
（ただし、窓際は比較的受信しやすくなります）
- ◆山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
- ◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- ◆自動車、電車、飛行機などの中
（特に移動中は電波障害が起きやすくなります）
- ◆空港、交通量の多い道路の近くや、工事現場など電波障害の起きる場所
- ◆テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明
- ◆金属面（床や壁）に接して設置した場合

※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。
このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用ください。

注意と警告

安全にご使用いただくために
下記の注意事項を必ず守って下さい。

使用上の注意

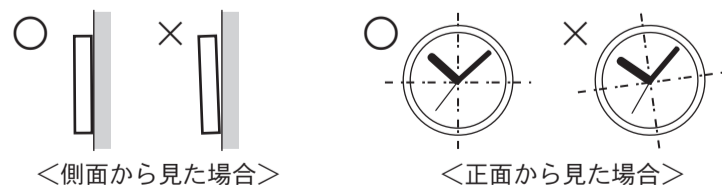
- ⊘禁止 ●分解・改造をしないでください。
- ⚠注意 ⚠警告 ●強いショックを与えないでください。●次のよう
な場所での使用・保管はしないでください。◆温度が
0℃以下、または40℃以上になる場所。◆浴室など、湿気の多い場所◆直射日光などの
強い紫外線が当たる場所◆強い磁気のある場所◆振動の激しい場所◆工場、台所など、
油分の多く発生する場所◆温泉場など、ガスの発生する場所◆温風機などの乾燥した
風が当たる場所●ゴムやビニール系素材に長い間直接接触させておくと、色移りや付
着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないでください。

電池について

- ⊘禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないでください。●モニター
用電池が付属している場合、付属の電池は充電式ではありません。絶
対に充電しないで下さい。●電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- ⚠注意 ⚠警告 ●寿命の切れた電池は、すぐに電池ホルダからは
ずしてください。●長時間、機器を使用しない場合は、
機器から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないでください。
●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに
水で洗い流し、医師に相談してください。目に入ったときは、失明の恐れがあるので
、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。●電池は幼児の手の
届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、医師に相談してくだ
さい。●電池ホルダが機能別に分かれていて2個以上の電池を使用する場合は、違う種
類の電池（アルカリとマンガン等）や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで
ください。発熱のおそれがあります。●電池を破棄、または保存する場合は、テープな
どで絶縁してください。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●電
池着脱の際は、指先等をケガさないよう注意してください。

時計の掛け方について

- ⚠注意 ⚠警告 ●時計は確実に掛けてください。落下により、ケガ
をする恐れがあります。●掛け具に時計を掛けた際に、
時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して
ください。●時計は垂直・水平に掛けてください。時計に傾きがあると時計の精度や機能
が正常に働きません。●木質の厚い壁面・木の柱に掛けるときは、付属の木ネジをご
使用ください。●コンクリート・石膏ボードなどの壁には付属の掛け具を使用せずに、壁
の材質に合わせて市販の掛け具を使用してください。●記載以外の取付面の場合は、建
築メーカー等へご相談ください。



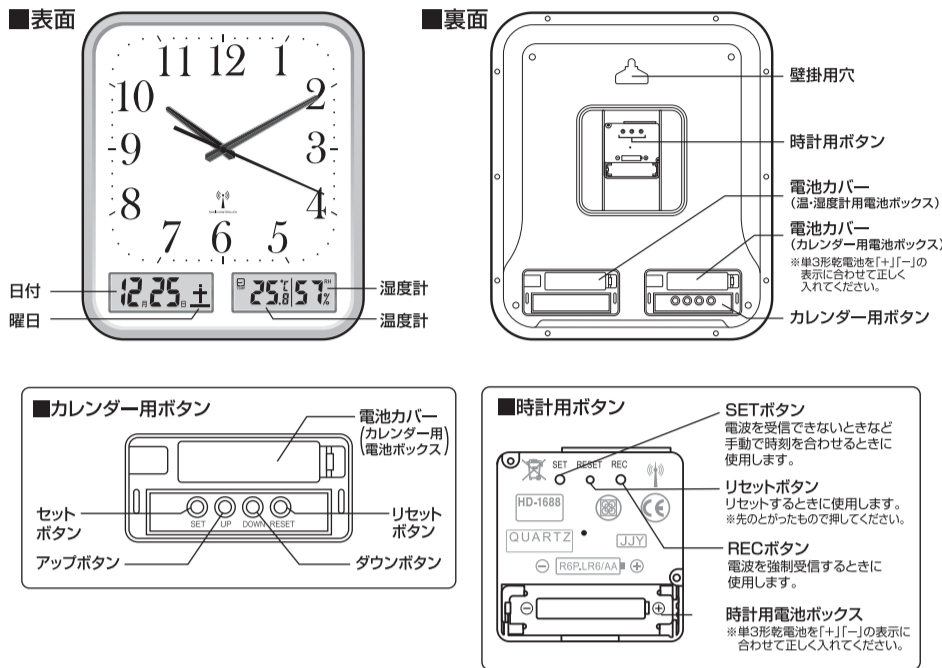
お手入れについて

- プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で
ふき、ふいた後にカラぶきをしてください。木枠金属枠の場合は、柔らかい布でカ
ラぶきをしてください。●ベンジン・アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブランは
使わないでください。変色、変形の恐れがあります。

ご使用の前に

本製品は、日本標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った電波時計です。操作の手順や動作などが一般の時計製品と異なります。本取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願い申し上げます。本書をお手元に保管して下さい。

各部の名称



自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。(1時00分、3時00分、5時00分、13時00分、17時00分、21時00分)電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

夜間秒針停止機能について

本製品は、内蔵プログラムにより、午後10時00分から午前6時00分までの間は、秒針が12時の位置で停止します。夜間秒針停止中であっても自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また時・分・針も通常運針以外の動きをすることがありますが、故障ではありません。

カレンダー設定について

△注意 設定中の点滅は約30秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- ① カレンダー用電池ホルダに、単3形乾電池1個を＋の表示に合わせて入れて下さい。カレンダー表示が点灯します。
- ② 設定ボタンを1回押すと設定モードに入り、【年(西暦)】が点滅します。
- ③ ▲ボタン/▼ボタンを押して西暦を設定します。
- ④ 設定ボタンを押すごとに【年(西暦)】→【月】→【日】→【12/24時間制】→【時】→【分】が点滅します。▲ボタン/▼ボタンを押してそれぞれ設定します。
 ※【年・月・日】を合わせないと【曜日】は正しく表示されません。
- ⑤ 【分】の設定が終了したら設定ボタンを押して下さい。点滅が終了しカレンダー設定が完了します。※電池を挿入した後に表示がおかしい場合や、設定時に操作が分からなくなった場合は、RESETボタンを押して下さい。
 ※▲ボタン/▼ボタンは長押しすると早送りします。

ご使用方法

注意 電波受信中(受信のための時分秒針の運針中または停止中)は手動による時刻設定はできません。必ず通常の運針中に操作をしてください。誤動作の原因となります。

- ① **電池を入れる**
 単3形乾電池1個を、時計用電池ホルダの＋の表示に合わせてから入れて下さい。※絶縁紙・絶縁キャップがついている場合は、これをはずしてから電池を入れ直して下さい。
- ② **初期電波受信を開始**
 電池を入れると電波受信状態となり、時・分・秒針が早回りをし、12時の位置で一旦停止します。
 ※電波受信中(4～12分間)は、針が止まったままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ちください。
 ※針が停止中にRECボタン、またはM.SETボタンを3秒以上押し続けると受信を終了し、針は12時00分00秒より通常の運針を始めます。
 ●電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
 ●電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は12時00分00秒より通常の運針を始めます。
 →下記【電波受信ができなかった場合は・・・】を参照してください。
- ③ **時計を掛ける**
 ※本取扱説明書の【時計の掛け方について】と【電波時計について】を参照してください。

電波受信ができなかった場合は・・・

- ① **一昼夜そのままにして様子を見る**
 夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。※初期受信が出来なかった場合は、一日最多8回まで自動で受信を開始します。
 ※電波を受信できない場合は、時計内部で計測している時間で次の自動受信時間までの通常の運針を始めます。
- ② **設置場所を変える**
 設置場所を変えて、再度、受信をさせてください。
 ※設置場所を変える場合は、本取扱説明書【電波時計について】を参照してください。
- ③ **再度受信をさせる**
 通常の運針が始まった後に、RECボタンを3秒間押しして下さい。時・分・秒針が早回りをし、12時の位置で停止し、再度4～12分間電波受信状態となります。
 ※針が停止中にRECボタン、またはM.SETボタンを3秒以上押し続けると受信を終了し、通常の運針を始めます。
 ●電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
 ●電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。

4 手動で時刻を設定する

- ① 通常運針時にM.SETボタンを3秒以上押し続けると、秒針が早回りをし、12時の位置で停止し、手動で時刻が設定できる状態になります。
- ② (秒針が停止中)にM.SETボタンを1回押すごとに分針が1分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りをし、放すと止まります。時報サービスや、テレビ・ラジオの時報を目安に確認し、午前/午後に注意して時刻の設定をしてください。
 ※お使い初めの電波受信中の時・分・秒針は、正午(12:00)で停止します。合わせたい時刻が午前の場合は、12時間以上移動させて現在時刻に合わせてください。
 ※合わせた時刻の10分程度手前で一旦早回りを止めて、残りの数分をM.SETボタンを1回ずつ押して針を進めると合わせやすいです。
- ③ 手動設定が終了したら、RECボタンを押す、またはM.SETボタンを放して30秒以上お待ちください。秒針が動き出し、通常の運針を始めます。
 ※手動で時刻を設定した場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は、RESETボタンを押して下さい。設定されている内容が初期状態に戻ります。時・分・秒針が早回りして12時の位置で停止し、再度4～12分間電波受信状態となります。
 ※RESETボタンは伸ばしたクリップの先などで押して下さい。針などの鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意ください。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、リセット操作をしてください。

時計用電池の交換時期について

電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは、針がぐるぐる回ります。このような場合は、すみやかに新しい電池と交換してください。

こんな症状のときは・・・

- 針がぐるぐる回る■
 - ① 電池を入れた直後の電波の受信の準備中
 →そのままお待ち下さい。
 早回りしている針は、12時の位置で一旦停止します。
 電波を受信すると、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
 ※その間ボタン操作はしないでください。
 - ② 時刻修正中
 →そのままお待ちください。
 電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
 電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。
 - ③ 電池容量が少ない時
 →新しい電池(単3形乾電池)と交換してください。
- 秒針が止まっている■
 - ① 夜間秒針停止中
 →本製品は、夜間の秒針のチコチコ音が気にならないように、内蔵プログラムにより、午後10時00分から午前6時00分までの間、秒針は12時の位置で停止します。
 - ② 手動時刻設定に、午前/午後を間違えて設定したとき
 →リセット操作をしてください。
 本取扱説明書の【リセット操作について】を参照してください。
 - ④ 秒針位置の自動補正中
 →そのままお待ちください。
 本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。

故障かな?と思ったときは・・・

※製品が正常に作動していないときは、修理を依頼する前に下記を参考に的確に調べてください。

症状	考えられる原因	処置
時計が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■電池が入っていない ■電池が正しい向きで入っていない ■電池端子の接触不良 ■電池容量が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ■電池の＋の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。 ■端子の表面を拭いて電池を入れ直してください。
時計が止まるまたは遅れる	<ul style="list-style-type: none"> ■電池容量が少ない ■電波障害 	<ul style="list-style-type: none"> ■指定の新しい電池と交換してください。 ■電池を一旦電池ホルダから取り外してください。(本書「リセット操作について」参照)
時分秒が早回りした後、動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■電波の受信中 ■電池容量が無い ■または容量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■そのまま12分程お待ちください。その間ボタン操作はしないでください。(本書「ご使用方法②」参照) ■指定の新しい電池と交換してください。